

注目の新設校インタビュー

千代田国際中学校(認可申請中)

お話 武蔵野大学附属千代田高等学院

中学園長 日野田 直彦 先生



編集部 よろしくお願いたします。2022年度にスタートする千代田国際中学校は、武蔵野大学附属千代田高等学院の併設校で、名目上は2018年に募集を休止した千代田女学園中学校の再開ですが、各校の関係が複雑ですので、ご説明いただけますか。

日野田 1888年に、島地黙雷先生が千代田区四番町のこの地に女子文芸学舎を創立したのが始まりです。女子文芸学舎はその後高等女学校になり、第二次世界大戦後は千代田女学園中学・高等学校になりました。戦後も多くの卒業生を社会に送り出してきましたが、時代の流れとともに、社会が求める人物像が変化しています。そこで、21世紀の社会で活躍できる人物を育成するため、学園の改革を実施することになりました。まず高校を共学化して、国際バカロレアのディプロマの学びをはじめとした多くのコースを持つ、武蔵野大学附属千代田高等学院としています。

編集部 大改革のために、一旦中学校を休止にしたわけですね。

日野田 改革の規模が大きいので、第一段階として高校のあり方を大きく変えました。

編集部 新たに武蔵野大学の附属校になったわけですか。

日野田 いいえ、武蔵野大学と本校は縁の深い学校で、高校の改革では、人気が高い薬学部をはじめとした各学部への進学も可能ですよ、ということアピールするために附属の校名にしたわけです。

編集部 先ほど海外大学進学に有利な国際バカロレアのコースもある、というお話でしたが、卒業生の多くが武蔵野大学に進学しているわけではないのですね。

日野田 武蔵野大学は良い大学ですから、三分の一くらいの生徒が進学していますが、他にも海外大学

をはじめ、国内の難関大学などいろいろな大学に進学する高校になりました。

編集部 高校の改革が軌道に乗ってきたので、次のステップに進むわけですか。

日野田 第二段階として、高品質の中高一貫教育を開始します。そのために千代田国際中学校がスタートするわけです。本校の一貫教育で、海外大学への進学者だけでなく、国内の大学でも卒業後に海外へ進出する卒業生は大きく増えていくでしょう。ですから、今回は武蔵野大学の名前を冠さず、校名に「国際」の2文字を入れたわけです。

編集部 海外を強く意識していますね。

日野田 学校の周りを見てください。各国の大使館だけでなく、外資系企業や、海外に盛んに進出している日本企業のオフィスも数多くあります。江戸城の外堀の内側にあつて、かつては旗本の屋敷が並んでいたこの地は、今は「世界がすぐそこにある街」です。この地で中高一貫教育を進めていく以上、海外を強く意識するのは当然です。来年入学する1期生は、少なくとも三分の一程度は海外の大学に進学するのではないですか。

編集部 期待する生徒像をご紹介ください。

日野田 本校が期待する生徒像は「世界に貢献したい」「チェンジメーカーになりたい」「世界を救う勇者になりたい」です。

編集部 「勇者」ですか。勇ましいですね。

日野田 「勇者」と言われてワクワクする生徒に入学してほしいわけです。

編集部 ワクワクする生徒を6年間でどのような人物に育てていくのでしょうか。

日野田 世界の諸問題を自分事として捉える勇気をもって、その解決に貢献できる人です。そのためには、まず自分を知り、つぎに他者を知り、そして社

会を知ることが必要です。そして常に問題意識をもって自分で行動できること。未来の社会を創る責任を担える大人に育てていきたいですね。

編集部 教育プログラムの特色をお願いします。

日野田 「PBL/SEL」「SCIENCE」「ENGLISH」が教育プログラムの3つの柱です。

編集部 ご存じの方も多いたと思いますが、「PBL/SEL」からご説明ください。

日野田 「PBL」は課題解決型学習です。生徒自身が課題を見つけ、課題を解決するまでの過程でさまざまな知識や考え方を身に付けていく学習法です。「SEL」は社会性や情動スキルの教育で、自尊感情や対人関係構築力を高める教育アプローチです。生徒たちが互いに協力しあって「PBL」を実践する中で人間性も高めていきます。これが何事に対しても常に「前に踏み出す力」になります。

編集部 「SCIENCE」はいかがですか。

日野田 これからの時代を考えたとき、さまざまな情報を読み解き、その中から新たな価値を創造する力が求められます。そのためには表面的な情報に惑わされず、確かな根拠に基づかなければなりません。「見極める目」が必要になるわけです。この「見極める目」を育てるのが「SCIENCE」です。単に理科や数学を一生懸命勉強しよう、と言うものではありません。

編集部 「見極める目」はどうやって育つのでしょうか。

日野田 「トライアル・アンド・エラー」の積み重ねです。和製英語ではトライ・アンド・エラーと言いますが、試行錯誤です。だからといって、むやみやたらとやってみるのではなく、根拠に基づいてしっかり考えて試行し、失敗したらその失敗から学んで、粘り強く再度挑戦を繰り返します。本校の6年間で、こうした思考、行動の習慣を身に付けていきます。

編集部 「ENGLISH」は英語ですから、当然ですね。

日野田 大切なことは「英語がわかる」だけではなく、英語で自分の意思を伝達することです。英語でプレゼンをし、交渉し、冗談を言いあえる。こうした力は中高6年間だけで完成するわけではありませんが、本校の6年間で世界の18歳に決してひけを

とらない力をつけていきます。

編集部 かなり実践的ですね。

日野田 直接的な語学力ではありません。社交ダンスも広い意味での「ENGLISH」です。世界の18歳にひけをとらないためには、社交ダンスのマナーも身に付けさせたいと思っています。実際、社交ダンスを踊れる18歳は多いですよ。前任の学校で、世界各地の高校生の交流の場に、生徒を引率したことがあります。パーティで社交ダンスになるとみんな引込み思案で隅に固まってしまう。堂々とふるまえない。これではどんなに素晴らしい発表を持って行っても、世界の高校生たちには受け入れられません。マナーや文化も「ENGLISH」なのです。



【千代田国際中学校 校舎】

編集部 社交ダンスは授業として実施するのですか。

日野田 授業というよりもアクティビティですね。本校では従来型の部活動は行わないつもりです。アクティビティは、放課後を中心に異学年の生徒たちも含めて取り組んでいくもので、季節によって内容もいろいろ変えていこうと思っています。

編集部 どのような内容を検討しているのでしょうか。

日野田 社交ダンス以外にも、ロボットを動かすプログラミング、哲学対話、アカペラやヒューマン・ビート・ボックス(人間ののどなどを使って音楽を創り出すこと)などもいいですね。能などの伝統芸能も取り上げたいと思っています。

編集部 放課後といえば部活動のイメージが強いのですが。

日野田 部活動にも大きな意義はありますが日本的です。海外では日本流の部活動を見ません。世界の18歳にひけをとらないために、もっと別のアプローチで生徒たちの成長を促したいわけです。

編集部 それが放課後のアクティビティになったわ

けですね。では、授業はどのようになるのでしょうか。

日野田 週6日制で、月曜日から金曜日は午前中に4時間、間にお弁当の時間を挟んで、午後は2時間の授業があります。土曜日は午前中までです。月曜日から金曜日の午前中はリテラシー、つまり知識や技能を中心に、基礎力を培う授業を行っていきます。午後は毎日PBLに取り組みます。ワークショップ型で、生徒たちは互いに知識や技能をアウトプット、生徒同士で議論を進め、活動の中で学びを深めていきます。

編集部 午後に集中的にアクティブ・ラーニングを行うわけですね。

日野田 大学や研究機関、周辺の大使館や企業などのご協力もいただきますから、中身の濃いPBLになるはずですよ。

編集部 土曜日はどのように過ごすのでしょうか。

日野田 中学では、土曜日の午前中を丸々使ったりベラルアーツ体験プロジェクトを行います。世界の18歳にひけをとらないためにはリベラルアーツが大切で、月曜日から金曜日のリテラシーやPBLの学びだけでは身につかないのが芸術分野です。積極的に学校の外に出ようと思います。例えば上野です。国立西洋美術館、東京都美術館、上野の森美術館があり、素晴らしい作品に触れることができます。ほかにも音楽、映像芸術、舞台芸術など、さまざまな分野の作品に触れていきます。

編集部 高校の土曜日はどうなるのでしょうか。

日野田 高校では原則として土曜日を空けていきます。PBLの積み上げで、高校2年生では全員卒業論文を仕上げてもらいますが、土曜日はそのためのリサーチと研究の時間として確保します。そしてこの卒業論文は、海外も含めた大学進学時に、ポートフ

ォリオの中でもかなり有力な存在になります。ポートフォリオは学習成果を集めたものですが、その中で光るのがこの卒業論文です。

編集部 そのほか、特色のある教育活動としては、どのようなことを予定していますか。

日野田 道徳の代わりに週1回、宗教の時間を実施します。本校は全国に24の学園と72の学校や幼稚園を擁する龍谷総合学園グループの学校で、ご存じのように浄土真宗本願寺派です。仏教は長い間日本の社会に根付いてきた宗教ですから、単に教養として、あるいは生き方の手本として仏教を学ぶだけでなく、フィールドワークを通して歴史教育などとのつながりのある学びを考えています。

編集部 入試はどのように実施するのでしょうか。

日野田 25名の4クラス編成ですから、募集定員は100名です。入試日程ごとの募集定員や科目は現在検討中ですが、国算の2科や国算理社の4科を中心に、理数や英語に強い受験生のための入試も設定していくつもりです。「尖がった個性」は大事にしたいと思います。

編集部 海外帰国生入試も実施しますか。

日野田 はい。こちらも検討中ですが、コロナ禍はまだ収まらないと思いますので、オンラインの入試も実施する予定です。順次ホームページで公開していきますので、時々チェックしてください。

編集部 最後に、受験生・保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

日野田 世界を変えていこうとする、良い意味での野心を持った生徒に入学してほしいですね。学校の主人公は生徒たちですから、こうした気持ちがあふれている生徒たちとともに、新しい学校を創っていきます。

編集部 ありがとうございます。

千代田国際中学校 交通案内

JR・地下鉄市ヶ谷駅：徒歩7分、JR・地下鉄四ツ谷駅：徒歩7分

地下鉄半蔵門駅：徒歩5分、地下鉄麴町駅：徒歩5分

オープンスクール：7/10(土)、9/4(土)、10/23(土)、各14時～

授業体験会：8/7(土)10時～ 入試直前対策講座：11/23(火・祝)10時～ いずれも予約制

※公開行事は予定が変更になることがあります。ホームページでご確認ください。